



Cisco EPN Manager 6.1 高可用性インストール

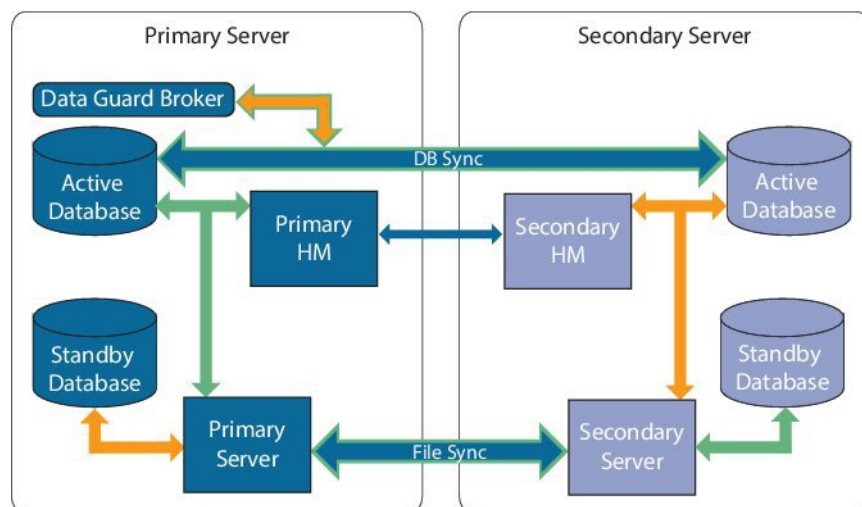
この章では、高可用性環境における Cisco EPN Manager に関する情報を示します。

- [高可用性の概要 \(1 ページ\)](#)
- [高可用性展開の考慮事項 \(2 ページ\)](#)

高可用性の概要

Cisco EPN Manager 高可用性 (HA) システムは、障害発生時に継続的なシステム動作を確保します。HA では、リンクされて同期された Cisco EPN Manager サーバーのペアを使用して、いずれかのサーバーで発生する可能性のあるアプリケーション障害またはハードウェア障害による影響を最小限に抑えるか、あるいは完全に排除します。

次の図に、高可用性展開の主なコンポーネントとプロセスフローを示します。



高可用性展開は、プライマリサーバーとセカンダリサーバーで構成され、両方のサーバー上にヘルスマニター (HM) インスタンス (アプリケーションプロセスとして実行) が存在しま

す。プライマリサーバーに障害が発生すると（問題が発生したためか、または手動で停止させたため）、プライマリサーバーへのアクセスを復元する間はセカンダリサーバーがネットワークの管理を引き継ぎます。自動フェールオーバーするように展開を設定すると、プライマリサーバーの障害発生後2～3分以内にセカンダリサーバーがアクティブなロールを引き継ぎます。

プライマリサーバーに関する問題が解決し、サーバーが実行状態になっても、スタンバイモードのままとなり、アクティブなセカンダリサーバーとのデータの同期が開始されます。フェールバックがトリガーされると、プライマリサーバーがアクティブなロールを再度引き継ぎます。プライマリサーバーとセカンダリサーバーの間でのこのロールの切り替えは、障害後、プライマリサーバーが再インストールされていない限り、通常、約2～3分かかります。プライマリサーバーが再インストールされている場合は、（セットアップのサイズに基づき）それよりも長く時間がかかります。

HAの詳細については、『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のHAに関する項を参照してください。

高可用性展開の考慮事項

- [高可用性展開のモデル](#)
- [高可用性の制限について](#)
- [仮想アドレスを使用できるかどうかの検討](#)

高可用性展開のモデル

Cisco EPN Manager は、次の高可用性（HA）展開モデルをサポートしています。

HA 展開モデル	プライマリサーバーとセカンダリサーバーの場所	例：
ローカル（Local）	同じサブネット上（レイヤ2プロキシミティ）	同じデータセンターにあるサーバー
キャンパス（Campus）	LAN 経由で接続されているさまざまなサブネット	同じキャンパス、市区町村、県などにあるサーバー
リモート（Remote）	WAN 経由で接続されているさまざまなサブネット	サーバーが地理的に分散している

ローカル、キャンパス、またはリモートのHA展開モデルを使用するかどうかの決定時には、次の要因を考慮してください。

- 災害へのリスク：展開モデルの分散が多いほど、自然災害によるビジネスへのリスクが軽減されます。リモートからのHA展開は自然災害による影響を最も受けにくく、複雑さとコストが軽減されたビジネス継続性モデルを実現できます。ローカルでのHA展開は、サーバーコロケーションにより災害に対して最も脆弱になります。

- 仮想 IP アドレスを使用できるかどうか：ローカルでの HA 展開のみが仮想 IP アドレスを使用できます。仮想 IP アドレスは、フェールオーバーやフェールバックの後でも、常にアクティブなサーバーを指す単一の IP アドレスです。また、プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーの両方で共通の管理 IP アドレスを共有することもできます。
- 帯域幅/遅延：プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーは、帯域幅が高く、遅延が小さい短いネットワークリンクによって接続されているため、ローカル HA 展開において帯域幅は最も高くなり、遅延は最も小さくなります。キャンパス HA 展開では、ローカルでの HA 展開よりも帯域幅が低くなり、遅延が大きくなる場合があります。リモートからの HA 展開では、帯域幅は最も低く、遅延は最も大きくなります。
- 管理：HA 管理は、ローカルでの HA 展開で最も簡単ですが、キャンパスおよびリモートの HA 展開の場合はより複雑になります。リモートでの HA 展開には、管理上の修復が必要になります。
- デバイスイベントの転送の設定：イベント転送の設定は、ローカルでの HA 展開が最も簡単です。これは、仮想 IP アドレスを使用し、その単一の仮想 IP アドレスにイベントを転送するようにデバイスを設定できるためです。仮想 IP アドレスを使用しない場合は、プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーの両方にイベントを転送するようにデバイスを設定する必要があります。

HA の詳細については、『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』を参照してください。

高可用性の制限について

Cisco EPN Manager の HA システムには、次の制限要因が適用されます（これは、すべての高可用性展開モデルに適用されます）。

- HA システムでは、HA 動作に対応するために、少なくとも 500 Mbps（メガビット/秒）以上のネットワーク帯域幅が必要です。これらの操作には、HA 登録、データベース同期、ファイル同期、フェールバックのトリガーが含まれます（ただし、これらに限定されません）。Cisco EPN Manager は、すべてのネットワーク ニーズに単一の物理ポートを使用するため、帯域幅が不十分になり、HA パフォーマンスに影響を与える可能性があります。
- HA システムでは、プライマリサーバーとセカンダリサーバー間のネットワークリンク上は低遅延（最大 100 ms、70 ms 未満を推奨）が必要です。この 2 台のサーバーの物理的な近接性に関わらず、サーバー間のリンクで発生する遅延が大きい場合、Cisco EPN Manager によるプライマリ サーバーとセカンダリ サーバー間のセッション維持状態に影響が及ぶ可能性があります。これは、大規模なデータベースには、より低い遅延とより高い帯域幅を必要とする同期トランザクションが多く必要になるためです。Cisco EPN Manager を使用して比較的小規模なネットワークを管理している場合、データベースは小さいため、HA はネットワーク遅延が長くなり、帯域幅が低くなる可能性があります。
- HA パフォーマンスは、プライマリサーバーとセカンダリサーバーに接続するネットワークが提供するネットワークスループットに大きく影響されます。この制約は、すべての展開モデルに（ある程度まで）適用されます。たとえば、地理的に分散した展開では、低帯域幅と高遅延により、リモート HA 展開に問題が発生する可能性が高くなります。ただし、ローカルおよびキャンパスでの HA 展開が正しく設定されていない場合、利用率の高

いネットワークでの帯域幅の制限により、遅延による問題の影響を非常に受けやすくなります。

さまざまなHAのどれにネットワークが適しているかを判断するには、シスコの担当者にお問い合わせ、支援を受けてください。

仮想アドレスを使用できるかどうかの検討

ローカル HAは展開のセットアップに仮想 IP アドレスを使用すると、ユーザーは実際にアクティブなサーバーを知らなくても、単一の IP アドレスまたは Web URL を使用してアクティブなサーバーに接続できます。仮想 IP アドレスを使用すると、両方のサーバーが共通の管理 IP アドレスを共有することもできます。通常の操作中、仮想 IP アドレスはプライマリ サーバーをポイントします。フェールオーバーが発生すると、仮想 IP アドレスはセカンダリ サーバーを自動的にポイントします。フェールバックが発生すると、仮想 IP アドレスは自動的にプライマリ サーバーに切り替わります。

仮想 IP アドレスを使用するには、次の IP アドレスが同じサブネット上にある必要があります。

- 仮想 IP アドレス
- プライマリ サーバーおよびセカンダリ サーバーの IP アドレス
- プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーに設定されているゲートウェイの IP アドレス

次に、仮想、プライマリ、およびセカンダリの IP アドレスを相互に割り当てる例を示します。プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーに、特定のサブネット内の次の IP アドレスが割り当てられている場合は、両方のサーバーの仮想 IP アドレスは次のように割り当てることができます。

- サブネット マスク : 255.255.255.224 (/32)
- プライマリ サーバーの IP アドレス : 10.10.101.1
- セカンダリ サーバーの IP アドレス : 10.10.101.2
- 仮想 IP アドレス : 10.10.101.[3-30] 例 : 10.10.101.3。仮想 IP アドレスは、特定のサブネット マスクで有効なアドレス範囲内の任意のアドレスになることに注意してください。

仮想 IP アドレスを使用しない場合は、プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーの両方にイベントを転送するように（特定のサブネット、またはプライマリ サーバーとセカンダリ サーバーの両方を含む IP アドレスの範囲にイベントを転送するなどによって）デバイスを設定する必要があります。データを損失する可能性を低減する（または排除する）には、フェールオーバーが発生する前にデバイスイベントの転送を設定する必要があります。インストール中にセカンダリ サーバーに変更を加える必要はありません。プライマリ サーバーとセカンダリサーバーを個別の IP アドレスでプロビジョニングするだけです。

HA 展開で単一の IP アドレスを使用するかどうかにかかわらず、ユーザーはアクティブなサーバー IP アドレス/URL を使用して Cisco EPN Manager Web GUI に常に接続する必要があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。